

# 感染症について

☆下記の感染症が治り、登園のめやすの状態に回復し登園される際は、保護者の方が記入されて、裏面の「登園届」の提出をお願いします。

【必ず、保護者の方が、「どのくらい回復したら登園できるか」を、医師に確認が必要な感染症】

感染症名	感染しやすい期間	登園のめやす
麻疹（はしか）	発症1日前から発疹出現後の4日後まで	解熱後3日を経過するまで
インフルエンザ	症状が有る期間 (発症前24時間～発病後3日程度まで が最も感染力が強い)	発症した後5日を経過し、 かつ解熱した後2日を経過してから。 (乳幼児は解熱後3日経過してから)
風しん		発疹がすべて消失してから
水痘（水ぼうそう）	発疹出現1～2日前から痂皮形成まで	すべての発疹が痂皮化（かさぶた）してから
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	発症3日前から耳下腺腫脹後4日	耳下腺・顎下腺・舌下腺の腫れが出現してから 5日を経過するまで、かつ、全身状態が良好に なってから
咽頭結膜熱 (プール熱・ アデノウイルス感染症)	発熱、充血等症状が出現した数日間	主な症状が経過して2日経過してから
百日咳	抗菌剤を内服しない場合、 咳出現後3週間を経過するまで	特有の咳が消失するまで、または、5日間の 適正な抗菌剤による治療が終了してから
腸管出血性大腸感染症 (O157、O26、 O111等)		症状が治まり、抗菌剤による治療が終了し、 48時間を空けて連続2回の検便によって、 いずれも菌陰性が確認されてから
流行性角結膜炎	充血・目やに等の症状が出現した数日	感染力が非常に強いので、 結膜炎の症状が消失してから
急性出血性結膜炎	ウイルスは呼吸器から1～2週間、 便から数週間～数か月排出される	医師により感染の恐れがないと認められてから
結核		医師により感染の恐れがないと認められてから
髄膜炎菌性髄膜炎		医師により感染の恐れがないと認められてから
感染性胃腸炎 (ノロ、ロタ、 アデノウイルス等)	症状がある間と、症状消失後1週間 (量は減少していくが数週間は ウイルスを排泄しているため)	嘔吐・下痢等の症状がおさまり、普通の 食事が摂れるようになってから

＊新型コロナウイルス感染症に罹患した場合は、必ずお知らせください。  
別紙（登園許可証明書）の提出が必要となります。

【医師の診察・診断を受け、全身状態が良くなってから登園が可能な感染症】

感染症名	感染しやすい期間	登園のめやす
溶連菌感染症	抗菌剤の内服治療を開始する前と 開始後1日間	抗菌剤内服後24時間経過してから
マイコプラズマ肺炎	抗菌剤の内服治療を開始する前と 開始後数日間	発熱や激しい咳が治まってから
手足口病	手足や口腔内に水疱、 潰瘍が発生した数日間	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、 普段の食事が摂れるようになってから
伝染性紅斑 (リンゴ病)	発疹出現前の数日間	全身状態がよくなってから
伝染性膿痂疹 (とびひ)	皮疹・痂皮（かさぶた）が湿潤している 間は、接触によって感染します	痂皮が乾燥しているか、ガーゼで覆える位 になってから
ヘルパンギーナ	急性期の数日間。 (排便の中には1か月程度ウイルスを 排泄しているので、注意が必要)	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、 普段の食事が摂れるようになってから
RSウイルス感染症	発熱、咳などの呼吸器症状のある間	呼吸器症状が消失し、全身状態が良くなってから
ヒトメタニューモ ウイルス感染症	発熱、咳などの呼吸器症状のある間	呼吸器症状が消失し、全身状態が良くなってから
帯状疱疹	水疱を形成している間	すべての発疹が痂皮化（かさぶた）してから
突発性発疹	感染経路は不明。成人の唾液中のウイル スから感染すると言われています	解熱し、機嫌や全身状態が良くなってから